

2019年度 事業報告書

2019年 4月 1日から

2020年 3月 31日まで

学校法人 共立学園

学園概要

1. 法人の概要

名称 学校法人 共立学園（昭和44年2月21日法人設立）

代表者 理事長 内藤 芳雄

住所 大阪府和泉市伏屋町3丁目5番22号

電話 0725-55-2199

FAX 0725-57-2025

設置する学校

住所 大阪府和泉市伏屋町3丁目5番22号

名称 幼保連携型認定こども園 新光明池幼稚園

役員

理事 6名 監事 2名

評議員 13名

理事会 4回開催 評議員会 4回開催

職員 64名

2. 事業計画

《教育方針》

園生活を通して、きちんとすべき時はきちんとできるように、又、自由に表現すべき時は、個性を發揮できるよう導いていく。

《教育内容》

お友達や先生との関わりあいを大切にし、それに加えて、多様な園外保育、さまざまな専門講師による指導や自然教育など、経験重視の保育を行っている。

《園児数推移》

		3歳児		4歳児		5歳児		①3～5歳計	
		クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数	園児数	クラス数計	園児数計
定員	1号	5	60	3	60	3	60	11	180
	2号		20		21		21		62
H29年度	1号 2号 計	5	82	3	82	3	87	11	251
H30年度		5	102	3	71	3	84	11	257
R1年度		5	102	3	85	3	72	11	259

		0歳児	1歳児	2歳児	② 0～2歳園児数計	①+② 0～5歳 園児数計
		園児数	園児数	園児数		
定員	3号	12	18	18	48	290
H29年度		12	16	19	47	260
H30年度		13	17	20	50	298
R1年度		12	18	22	52	307

《保育時間》

開園時間：7：30～18：30

①教育標準時間：10：00～14：30

②保育標準時間：7：30～18：30

②保育短時間：8：30～16：30

《公定価格》

利用者負担金 1号認定、2号認定（10月より無償化）
3号認定（各在住市で定められた額）

《上乗せ徴収》

特別活動費 1号、2号 月額 2,000円
教育拡充費 1号、2号 月額 3,000円（満3歳児のみ）

《実費徴収》

バス維持費 1号、2号 月額 3,600円
給食費 1号 月額 4,500円（主食費1,500円 副食費3,000円）
2号 月額 6,300円（主食費1,800円 副食費3,000円）
保育教材費 3号 月額 1,000円
布団リース代 2号、3号 月額 1,200円

《その他の費用》

入園受入準備費 30,000円

《延長保育料金》

1号認定子ども（2号、3号は別に定める）
午前の部 午前7時30分～午前8時30分 400円（→「就労要件」利用可）
午後の部 午後2時30分～午後4時30分 600円
午後2時30分～午後5時30分 800円
午後2時30分～午後6時30分 900円（→「就労要件」利用可）

《半日保育時の延長保育料金》

1号認定子ども（2号、3号は別に定める）
午前の部 午前7時30分～午前8時30分 400円（→「就労要件」利用可）
午後の部 午後2時30分～午後4時30分 500円
午後2時30分～午後5時30分 800円
午後2時30分～午後6時30分 1,000円（→「就労要件」利用可）

《長期休暇の預かり保育料金》

午前7時30分～午後6時30分 1時間200円（給食400円）

《行事》

遠足（年長、年4回、年中・年少・満3歳児、年3回）、参観日（年7回）、学年集会、クラス別懇談会（年3回）、七夕祭り、宿泊保育（年長、年中）、移動動物園、運動会、作品展、おもちゃつき、クリスマス会、クリスマスコンサート（鑑賞会）、生活発表会、水上運動会（年長）

《施設関係》

園地面積 4,163.56㎡ 園庭面積 1,346.38㎡
園舎面積 2,161.28㎡（RC造 2階建他2棟）
保育室11室、乳児室・ほふく室2室、遊戯室1室、調理室1室、子育て支援室1室

《設備関係》

ICT導入により、保育現場および事務処理の効率化を図ることが出来た。また、新バス運行システム併用により、保護者のバス停待機の際の運行「見える化」により、雨天時や乳児を連れた待ち時間のストレス等の軽減に貢献できている。

《遊具関係》

園児の身体能力等の向上に向けて、大型クライミングウォールを園庭一角に設置。

《借入金関係》

旧体育施設（解体済）にかかる従来からの設備融資の元金残を平成27年度に商工中金から紀陽銀行に借り換え実行し、その後も着実に約定返済を行っている。加えて平成29年度認定こども園整備工事に係る設備融資として平成28年度より福祉医療機構から2年据え置きで借入を行い、平成30年度からの元金返済がスタートし、その後も順調に約定返済を行っている。

2019 年度 学校法人共立学園 事業報告

2019 年度も、当学園の求める「子どもらしさ」「子どもの発想」を大切にしながら教職員一丸となって幼児教育・保育に取り組んで参りました。そして10月からは幼児教育無償化がスタートされたことで、子育て世帯の経済的負担軽減とともに少子化解消等においては、今後期待したいところです。しかしながら、新制度とともに今般の無償化については、事務の煩雑化により相当な負担が強いられ、それによる影響が保育現場に携わる教職員におよぶことで、今後の質の維持向上が懸念されます。そして保育現場が疲弊し、大切な教育保育現場の妨げにならないかが心配されます。

これには、行政機関への種々課題軽減に向けた働きかけと並行して、教職員のモチベーションアップおよび「働き方改革」に係る労働環境向上等に向けて、様々な取り組みにより、学園スタッフ全員のワークライフバランスを充実させていくことが重要と考えています。加えて、近い将来に予測されている更なる少子化時代を踏まえ、当学園の教育内容の充実と当該内容のスタッフ共有、そして保護者はじめ地域や利害関係者への取り組み発信が大切であるものと考えています。

今年度の年末年始以降、新型コロナウイルス感染症が全世界で拡大しており、わが国においても前例のない対応が日々求められています。感染拡大は一刻も早く終息されることを望むばかりです。他方、これを機に今まで企画段階で進んでいなかった取り組みが一気に実現しようとしています。スタッフのテレワーク、オンラインによる懇談や YouTube による動画配信等、とにかく、登園自粛中の子ども達や家庭といかにして「つながるか」に知恵を絞ること。そしてそれにより、今までにない新しい学園のあり方について考える機会を得ることが出来つつあります。

現時点では相変わらず感染終息の見通しは不透明な状況にありますが、感染拡大防止策を踏まえ、限られた状況の中でも出来る限りの取り組みや手法を模索しながら、進めて参りたいと考えている所存です。

【その他子育て支援活動・地域連携等】

- 園庭開放…年間12回開催
- キッズサークル（未就園児親子のつどい）…年間20回開催
- 子育て相談…随時開催
- キンダーカウンセラー事業…年間20回開催
- 地域連携活動等
 - ・ 幼稚園であそぼう DAY（園児と地域のこどもの交流会）
 - ・ 親子体操 ・ 作ろう DAY ・ 夕涼み会 ・ 動物とふれあい DAY
 - ・ クリーンフェスティバル ・ クリスマス会
 - ・ 人形劇 ・ 親子ふれあいコンサート